組立・設置説明書

TOTO

洗面化粧台

オクターブ ラウンドタイプ
LDRL075・090・100・120型

商品の機能が十分に発揮されるように、この説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
電気温水器をセットする場合は、電気温水器に付属の施工説明書を参照してください。

1) 安全上の注意

- 取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
  使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

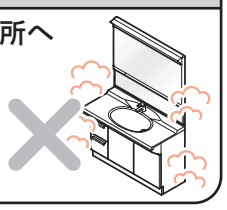
⃠	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。	❗	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。

- 取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
  紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引渡し時にお客様にお渡しください。

⚠ 警告

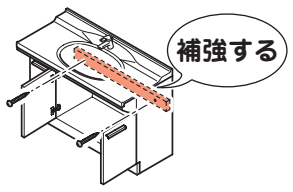
水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず、「有資格者・指定業者」が行う
火災や感電および水漏れの原因になります。
必ず実行

浴室など湿気の多い場所へ設置しない
漏電により感電するおそれがあります。
禁止



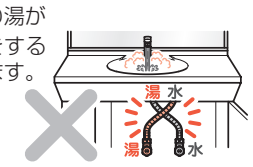
⚠ 警告

壁固定用ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する
キャビネットが転倒しけがをするおそれがあります。
必ず実行

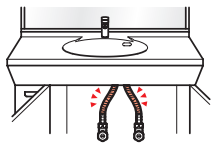


⚠ 注意

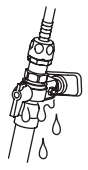
湯・水を逆に配管しない
水側でいきなり湯が出て、やけどをするおそれがあります。
禁止



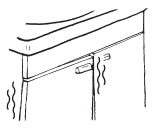
凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う
凍結破損で水漏れし家財などに損害を与える原因になります。
必ず実行



取り付け完了後、給排水管から水漏れがないかを必ず確認する
水漏れを起こすと、家財などに損害を与える原因になります。
必ず実行



取り付け完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する
使用中にキャビネット・扉が落下してけがをするおそれがあります。
必ず実行

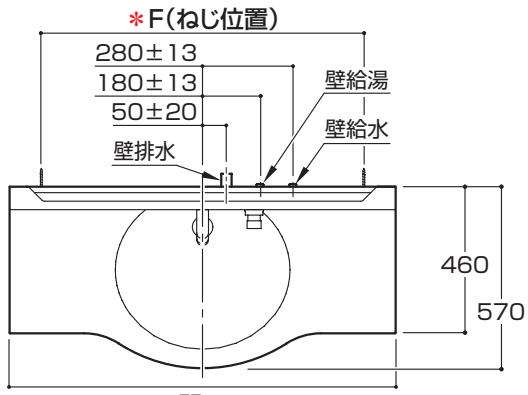


2) 設置寸法

- 特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。
- 壁排水の場合は、壁排水管は付属していませんので別売品のL0149をご購入ください。

1 洗面化粧台（一般タイプ）

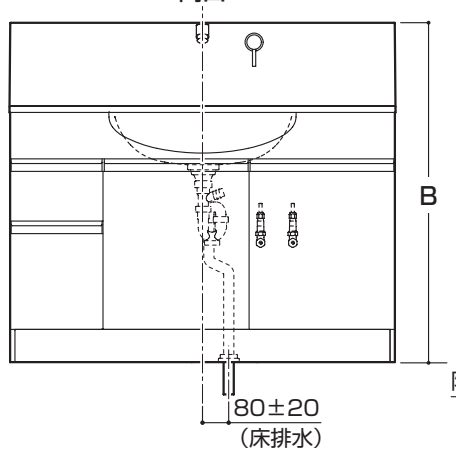
【壁給水の場合】

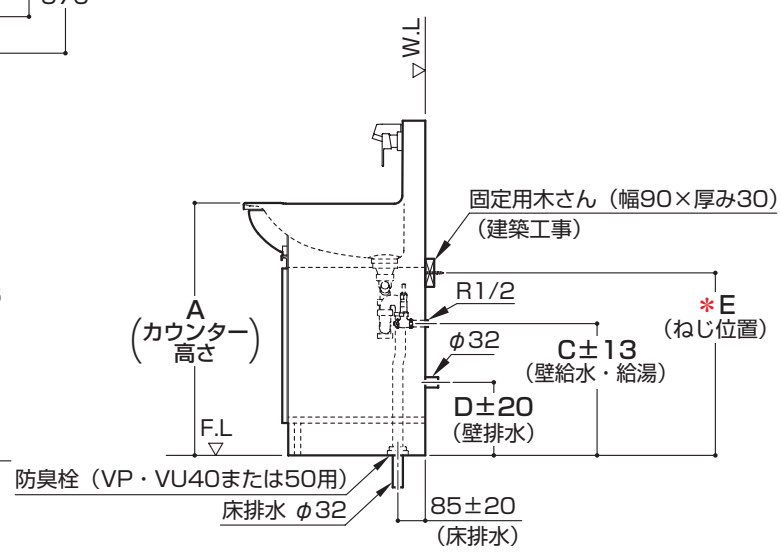


＊印の寸法は、壁固定用ねじ位置を示します。

間口	750	900	1000	1200
＊F	550	700	800	1000

（カウンター高さ）A	750	800
B	1010	1060
C	370	420
D	185	235
＊E	530	580



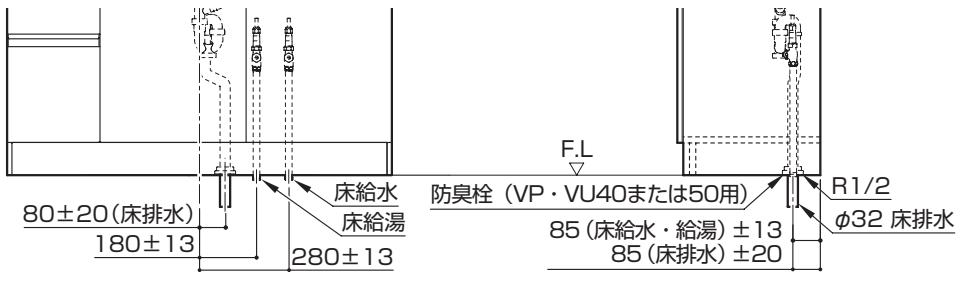


※ワイヤレススイッチまたはフットスイッチを取り付ける場合も止水栓の床からの高さ寸法は上表と同一です。

【床給水の場合】

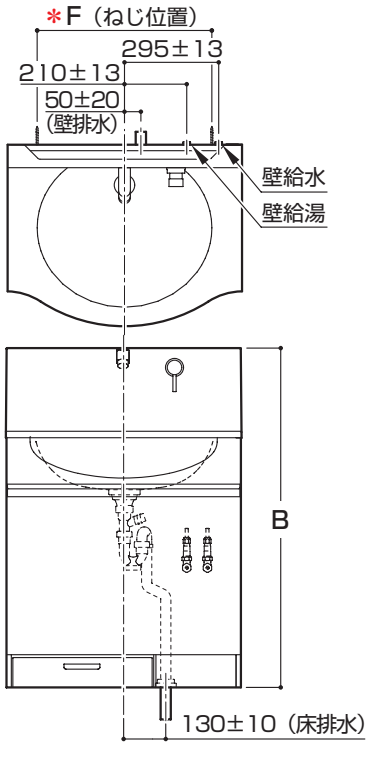
- 配管王をご使用の場合は、TSAS4BJKXAをご購入ください。
  （配管王の場合は水栓に付属している止水栓は使用しません。）

※ 配管王とは、TOTOの樹脂配管システムです。



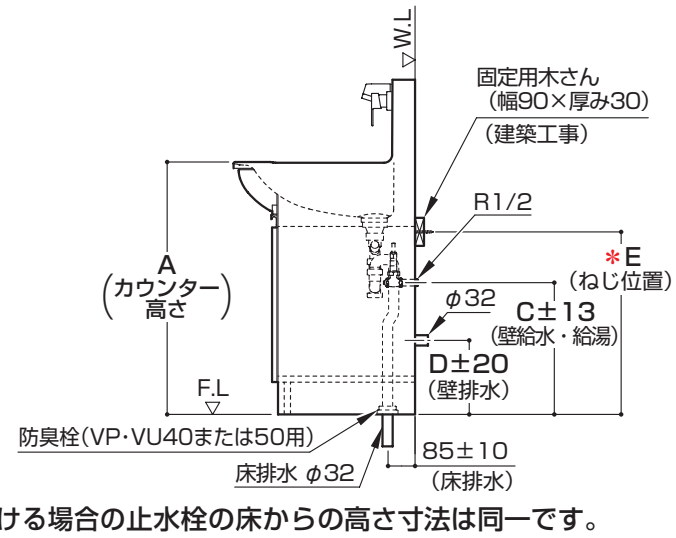
❷ 洗面化粧台（体重計収納付きの場合）

【壁給水の場合】



・＊印の寸法は、壁固定用ねじ位置を示します。
・F寸法は一般タイプと同一です。

（カウンター高さ）A	750	800
B	1010	1060
C	370	420
D	185	235
＊E	530	580

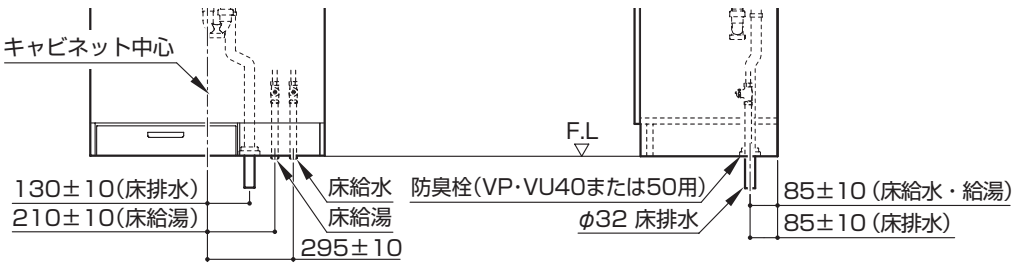


※ワイヤレススイッチを取り付ける場合の止水栓の床からの高さ寸法は同一です。
（フットスイッチとの組み合わせは出来ません。）

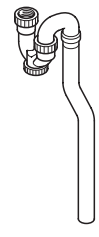
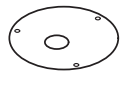
【床給水の場合】

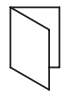
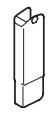
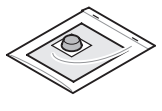
配管王をご使用の場合は、TSAS4BJKXAをご購入ください。
（配管王の場合は水栓に付属されている止水栓は使用しません。）

※配管王とは、TOTOの樹脂配管システムです。



3 付属部品明細

	名称		数量
1	排水パイプ		1セット
2	給水ふた		2個
3	排水ふた		1個
4	防臭栓		1個

	名称		数量
5	ふた固定用ねじ（φ3×12）		7本
6	壁固定用ねじ（φ5.2×55）		2本
7	取扱説明書（保証書付）		1冊
8	ホースカバー		1個
9	クッションセット ※LDRL075～120AF･BF･BEタイプのみ		1セット

※止水栓は、水栓に付属されています。

4 使用条件

●水栓金具の使用条件は水栓金具に付属の施工説明書をご参照ください。

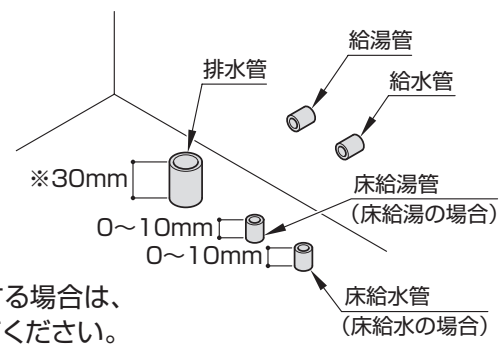
5 取り付け条件

●キャビネットの壁固定部分には、設置壁の裏面に固定用木さんを入れてください。
（固定用木さんが取り付けられない場合は、設置壁の前面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付けてください。）（建築工事）

※タイル･コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ（引抜き強度:1,000N以上／本）を打ち込んでおいてください。プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。
（プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。）

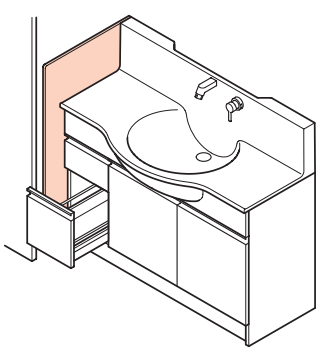
●給水管を所定の位置に取り出してください。
●器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
●排水管を所定の位置に仕上げ面より下記要領で立上げてください。
●排水管を所定の位置に取り出してください。
（排水管はVU40･VU50または、VP40･VP50をご使用ください。）

※排水管と仕上げ面の取り出し穴にすき間がある場合は、メジシールでシールしてください。



※電気温水器をセットする場合は、50mmで立ち上げてください。

※引き出し使用時にドア枠と干渉する場合は別売品のエンドパネル（L0148）をご購入ください。（ドア枠の出しろは壁から15mmまで対応可能です。）

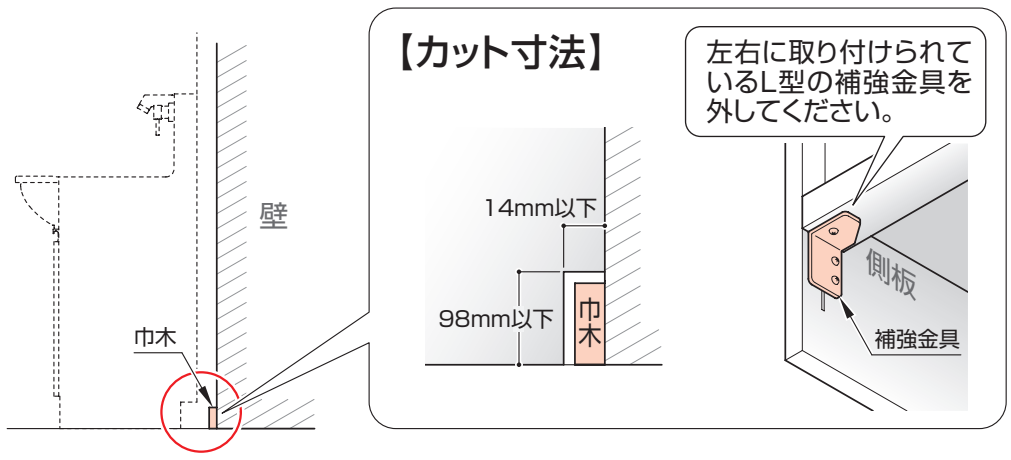


6 取り付け手順（番号順に取り付けてください。）

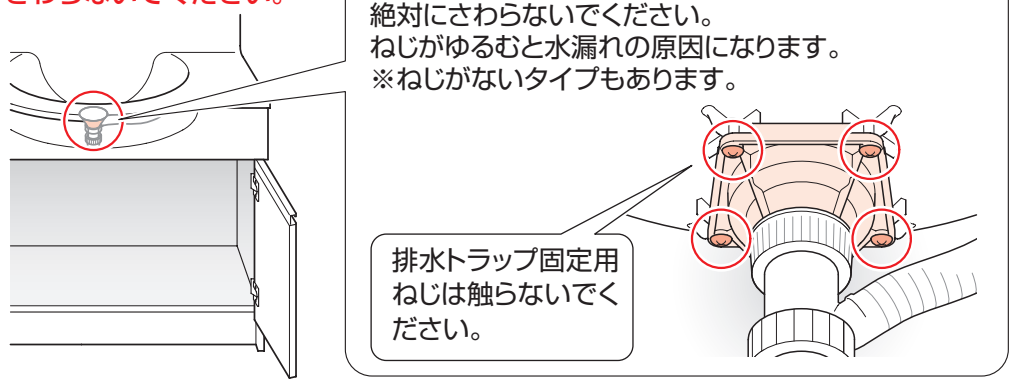
※洗面化粧台を設置する前に、体重計収納およびエンドパネルを取り付けてください。
取り付け要領は体重計収納およびエンドパネルの組立・設置説明書をご参照ください。

※壁に巾木があり、化粧台をそのまま設置できない場合、下記寸法以下であれば化粧台後部をカットできます。
※巾木カットをする場合は、L型の補強金具（左右）を外してください。

●金具は、キャビネット輸送時の破損防止の為に取り付けられています。
取り外した金具は廃棄してください。



※下図に示すねじは絶対にさわらないでください。



※キャビネットの扉・引き出しはあらかじめ外しておいてください。引き出しの外し方は側面に貼ってあるラベルを参照願います。
取り付けが終わりましたら元に戻してください。

裏面に続く ➡

6 取り付け手順（つづき）

1 給・排水穴の穴あけ

- 給水・排水の位置に合わせて化粧台に給水、給湯穴（φ30～50×2カ所）、排水穴（φ50）を穴あけしてください。

2 水栓の取り付け

※水栓の取り付けは、化粧台を壁固定する前に行ってください。

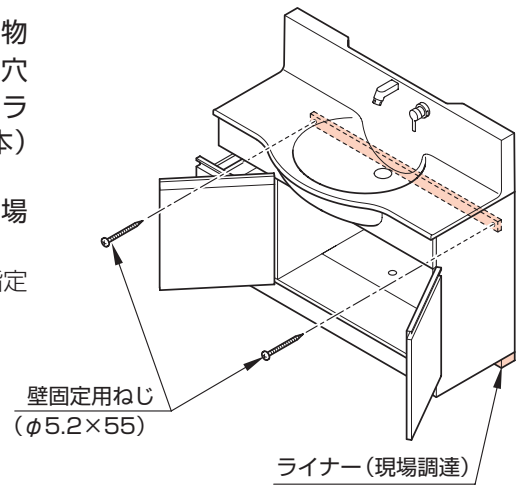
- 取り付けについては、水栓金具の施工説明書をご参照ください。

3 化粧台の取り付け

- 付属の壁固定用ねじ（2本）で壁に固定してください。

※床が水平でない場合には扉に段差ができる原因になりますので、丁番を調整して段差をなくしてください。（調整要領は扉裏面に貼り付けのラベルをご参照ください。）
それでも良くならない場合はライナー（現場調達）を入れて水平になるように調節してください。

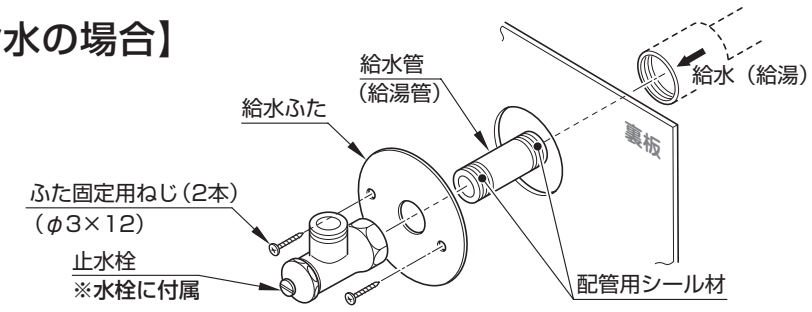
- タイル・コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじにあったプラグ（引抜き強度:1,000N以上／本）を打ち込んでおいてください。
プラグは壁固定ねじにあわせて現場にて準備してください。
（プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。）



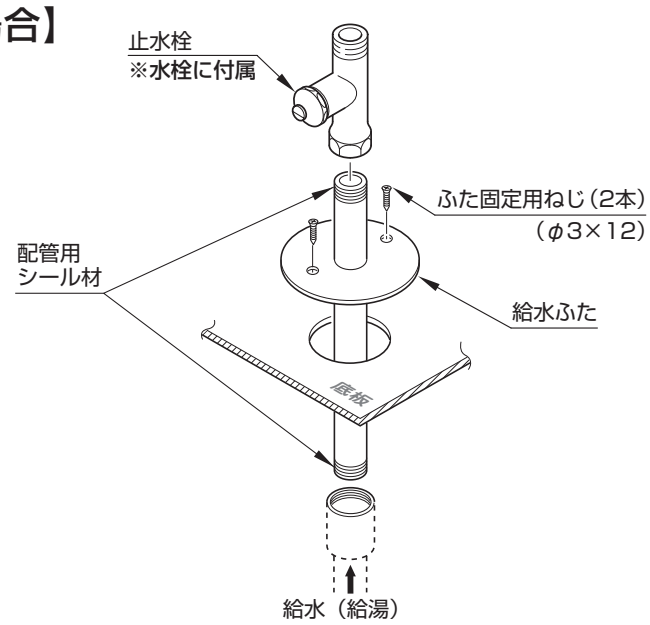
4 止水栓の取り付け

- 止水栓は工具で確実に締め付けてください。
- 配管王対応はTSAS4BJKXAに付属の施工説明書をご参照ください。

【壁給水の場合】



【床給水の場合】



5 水栓金具の給水・給湯接続

- 給水・給湯の接続は、水栓金具に付属の施工説明書に従い接続してください。

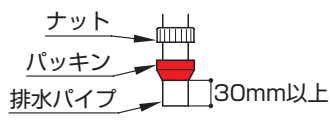
6 排水パイプの取り付け

- 集合住宅・高層住宅の場合、排水管と排水パイプの別売品のアダプター（次ページ）で確実に接合してください。

⚠ 注意

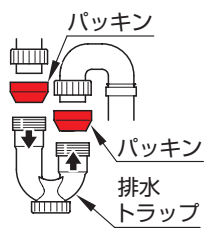
必ず実行

- パッキンの方向に注意する
パッキンは下図の位置に取り付ける

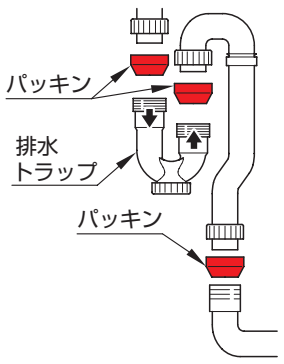


- 排水トラップの矢印マークと排水の流れる方向を合わせる
- ナットは手で確実に締め付ける
水漏れの原因になります。

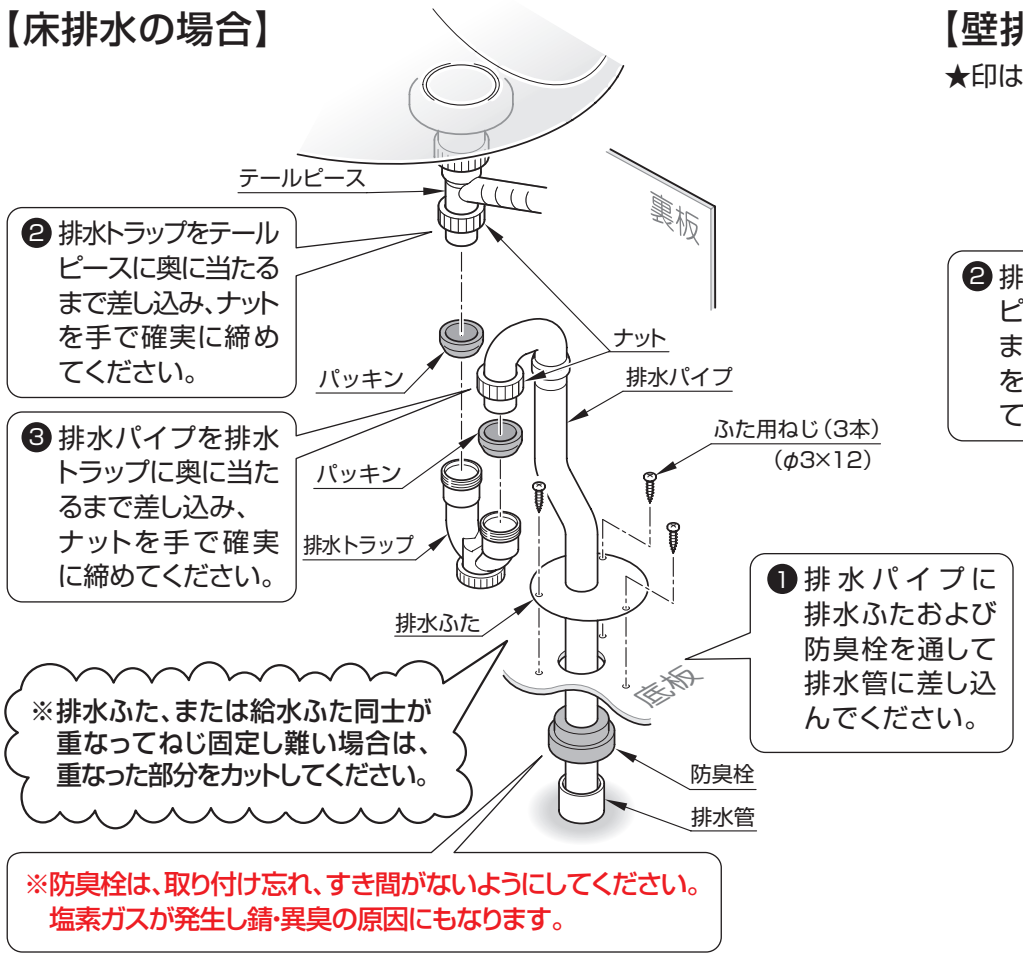
【床排水の場合】



【壁排水の場合】

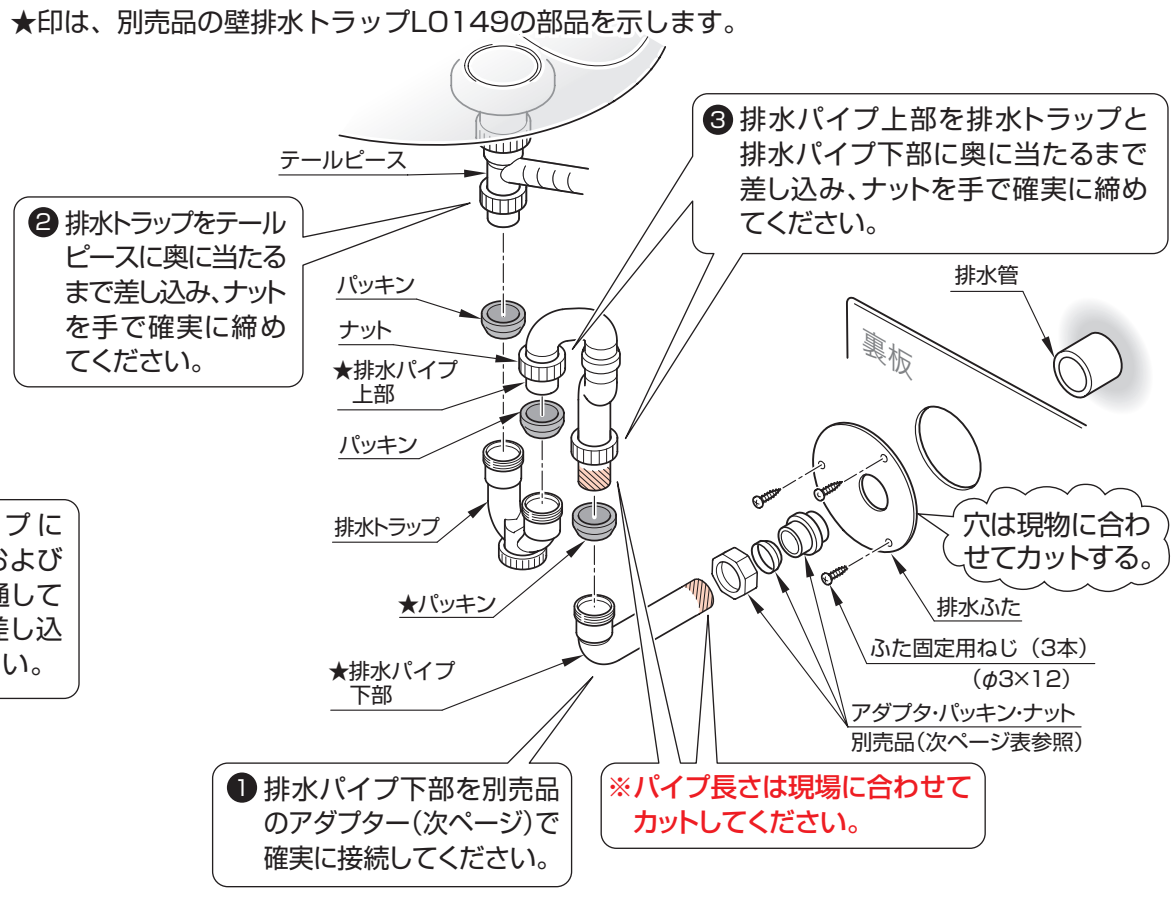


【床排水の場合】



【壁排水の場合】別売品（L0149）

★印は、別売品の壁排水トラップL0149の部品を示します。

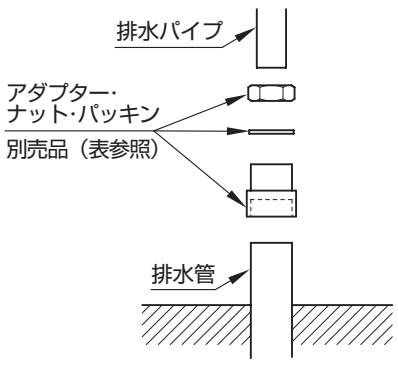


アダプター接続の場合

アダプターの種類	サイズ
T1122(鋼管用)	R1 1/4
T1122J(塩ビ管用)	30用
L048(塩ビ管用)	40用
L049(塩ビ管用)	50用

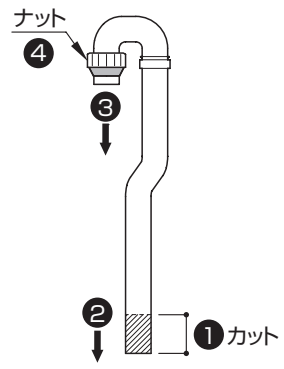
※上記品番はアダプター・パッキン・ナットのセット品番です。

※T1122Jは排水パイプのカットが必要です。



〈 T1122J使用時の取り付け手順 〉

❶ 排水パイプをカットしてください。(右図参照)
❷ カット側をアダプターに差し込んでください。
❸ 排水パイプ上部を排水トラップに奥に当たるまで差し込んでください。
❹ ナットを手で確実に締めてください。



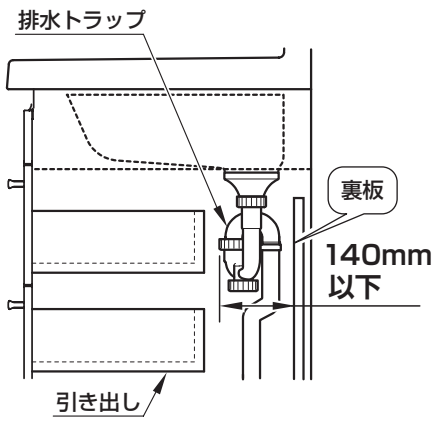
●排水トラップを設置したあとは、下図の範囲に納まっているか確認をしてください。

⚠ 注意

必ず実行

排水トラップを右図の範囲に設置し、引き出しが当たらないか確認する

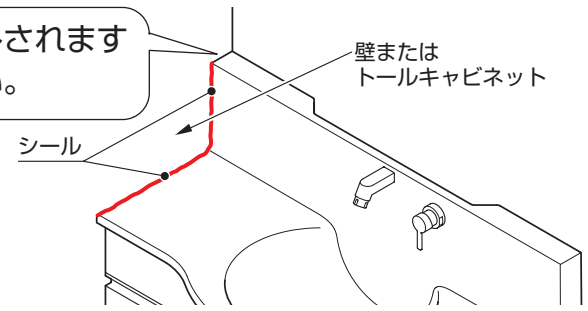
水漏れの原因になります。



7) 壁やトールキャビネットとの処理方法

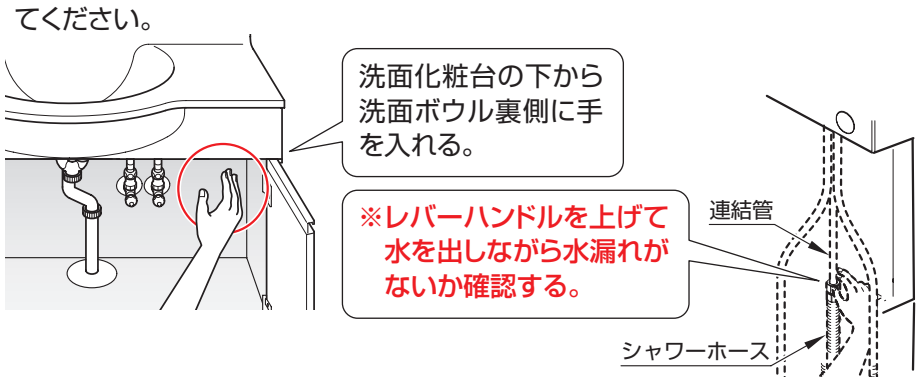
●カウンターと壁の突き合わせ部をメジシール(YG902S)にてシールしてください。

この部分は上に商品がセットされますのでシールしないでください。



8) 取り付け完了後の確認と清掃

●キャビネットが壁に確実に固定されていることを確認してください。
●扉・引き出しの傾き・がたつきなど丁番のゆるみがないことを確認してください。
調整要領は扉裏面に貼り付けのラベルを参照ください。
●通水し、配管内部の詰まり、配管接続部の水漏れ、ボウル内に汚れのないことを確認してください。



●商品に付いた汚れ(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)は、ぬれた布をかたく絞ってふき取ってください。
その後、水を湿らせた布に少量の台所用中性洗剤を付けてふき上げ、最後にからぶきしてください。
シンナー・ベンジンなどの使用は表面を変色・変質させますので、絶対に使用しないでください。
●直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどで遮ってください。
●扉や前板に傷つき防止用保護シートが貼られている場合はシートをはがしてください。

9) 寒冷地タイプの水抜き

●寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。

⚠ 注意

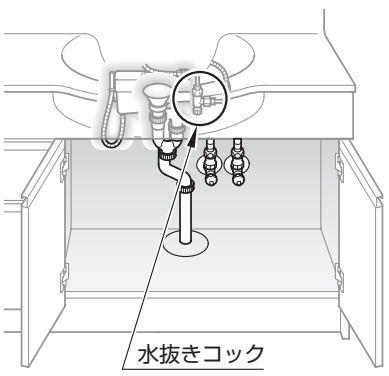
必ず実行

・凍結のおそれのある時期に取り付けされた場合は、別途設備された水抜き栓の操作と合わせて、次の要領で水抜きをする

お客様にも水抜き方法をご指導ください。

・ナットは手で確実に締め付ける

水漏れの原因になります。

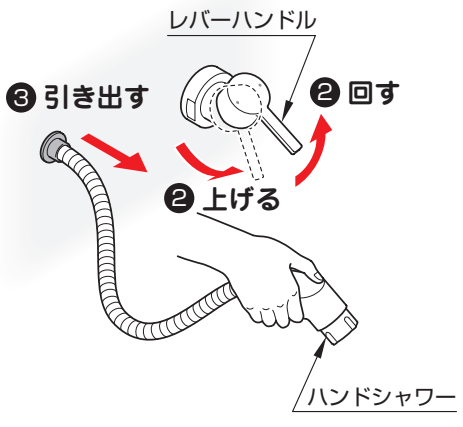


【水栓の水抜き】

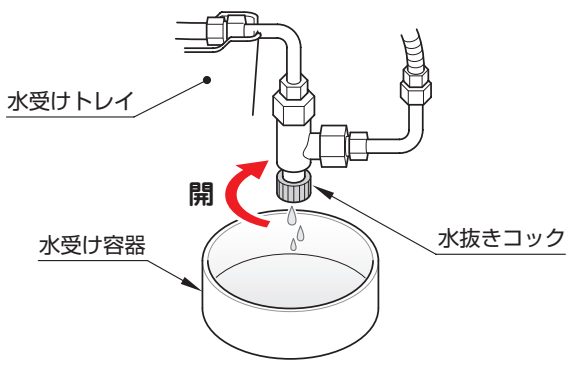
あらかじめ洗面化粧台の内部から引き出しや収納物を取り出してください。

〈次の手順に従って水抜きを行ってください。〉

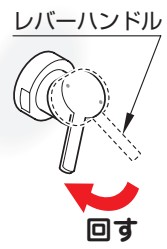
❶ 配管部の止水栓などにより通水を止めて、水抜きを行ってください。
❷ レバーハンドルを上げ、右側いっぱいに回してください。
❸ ハンドシャワーを引き出してください。



❹ 水抜きコックの下に水受け容器(洗面器など)を用意し、水抜きコックを開けてください。

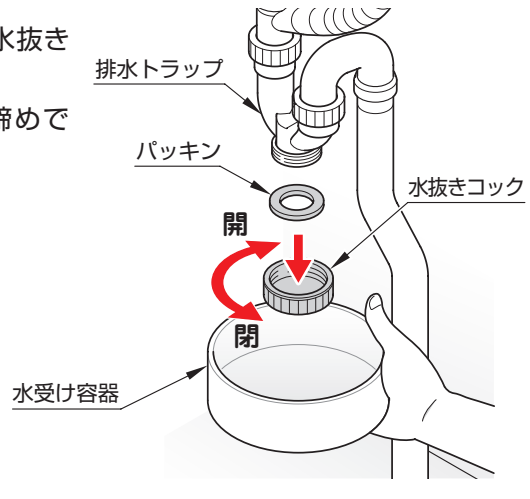


❺ レバーハンドルを上げたまま、左側いっぱいに回してください。



❻ ハンドシャワーをよく振って水を切ってから洗面ボウルの底に置いてください。

※水抜き完了後は必ず水抜きコックを確実に閉め、レバーハンドルを下げてください。
(水が出ない状態)

【排水トラップの水抜き】

❶ 水受けの容器を置き、排水トラップの水抜きコックを開けてください。
❷ 水抜き後は、必ず水抜きコックを手締めで確実に閉じてください。
(工具は使用しないでください。)